

한국체험여행 韓国体験旅行



第1回韓国体験旅行 旅行記 【1日目】

みなさん、こんにちは！

私たちは、9月に行われた学院の「韓国体験旅行」に参加しました。

今回は、藤本敏和先生、イ・ホンボク先生と、幸運にも平日に2日間の休みが取れた生徒5人。

クラスも違い初めて顔をあわす方もいらっしゃいましたが、すぐに意気投合！これから始まる旅が楽しい予感がしました。

(すぐに仲良くなれるのも、毎月1回親睦会があるおかげかな。)

では、みなさんもご一緒に 出発！（出発）



1日目 旅は空港から

今回の行き先は、慶州・釜山。旅は成田空港から始まります。

飛行機はKE714便。釜山行きのフライトはソウル行きに比べて便が少なく、午後の出発です。

藤本先生はのちほど合流されるため、まずは6人で移動開始。

飛行機の中では、イ・ホンボク先生の隣になった生徒に、もなく韓国語レッスンが。「はい、この文章を読んでみましょう。」とさっそく新聞記事を使って発音を学びます。韓国語は、日本語と似ている言葉も多いのですが、発音が難しい。しかし、さすが中級！ どんどん読み進んでいました。何でも教材にしてしまう先生ってすごい。なお、このレッスンは旅の間ずっと続きます。

선생님, 얼마나 공부해야 한국말을 자연스럽게 할 수 있을까요?

〈先生、どのくらい勉強すれば、韓国語が自然にできますか。〉

釜山から慶州へ

さて、飛行機は予定通り釜山に到着。

天気予報では、釜山は晴れ、気温30度のはずが雨。雨の港町も趣があっていいですよね。

空港でガイドさんと待ち合わせて、移動開始。ガイドさんは、日本に留学をされ、韓国で日本語を教えていたキムさん。とても穏やかな雰囲気の方でよき出会いになりました。



慶州までは、およそ1時間。京釜高速道路を使います。「京」はソウル、「釜」は釜山のこと。2つの都市を結んでいます。この高速道路は、有事に飛行機の離着陸が出来るようになっているんだとか。ガイドさんからいろいろとお話を伺いながらの移動は勉強になります。

雨はいつの間にか止み、しばらく走ると慶州インターチェンジが見えてきました。ここから世界遺産のある慶州です。インターチェンジの屋根をご覧ください。瓦を葺いていますよね。新羅の都であつた慶州は、街全体で歴史の持つ美しさを保っているんですね。

そのまま、車を走らすと桜の木々も街道沿いに多く、春に訪れたらどんなに美しいか想像しました。サイクリングロードも整備されているようですので、自転車で思いっきり風を切ったら気持ちよさそう。



お楽しみの夕食

さてこの旅は昼食と夕食を自由に決めるプラン！4日間で選べる食事は、昼夜あわせて5回。思ったより少ない！う～ん、何を食べようかな～。わくわくしながら、ガイド片手にメニューを検討。まずは、慶州名物サムギョプ（サンバブ）に。運転手さんおススメの店に決定しました。サンバブは、種類豊富な葉っぱでテーブルいっぱいのおかずを包んで食べます。おかずには初めて見る魚や不思議な香りの鍋もあり、興味津々。

先生によるとソウルとはキムチの味が違い、おかずも少し塩気が強いそう。その土地の味に出会えるのも旅の楽しみです。



お楽しみの夜プログラム

慶州では、普門湖のほとりにあるコモドホテルに2泊します。釜山から日帰りでも行ける慶州に2泊するなんて贅沢な旅ですね。

その夜は、普門湖を散策し、伝統芸能の

野外公演を楽しみました。

ここは、週末に舞台を無料で見ることが出来るところ。観光客への心遣いがうれしいです。

さて、今日の出し物は、楽器演奏と歌。春香歌などパンソリも充分に堪能しました。とくに「珍道アリラン」の時は、演者だけでなくお客様もいっしょに歌い、会場が一つに。

열심히 들어도 하나도 알아 들을 수 없어요. <一生懸命聞きましたが、一つもわかりません。> そうなんです。アリランの歌詞は難しくてわかりませんでした。早く私たちも心を共にして、歌うことが出来ればいいな。



旅は、始まりから笑いっぱなし。こんなに幸せでいいのかな。

今日は、もう遅いのでお休みなさい。

여러분 행복한 꿈 꾸세요. <みなさん、幸せな夢を見てくださいね。>

◆看板 み一つけた！

韓国に、名文の看板や標識が多いのはなぜでしょうか。愛情あふれるというかウイットに富んでいるんです。私たちだけでは気づかない名文や季節の言葉などを、先生が見つけてくださり共有しましたので、ほんの少しですが紹介していきます。

看板 その1♪			
클럽(체인증)	소형전동스쿠터	자전거	클래식오토
1시간 6,000	1일 3,000	20,000	
15,000	10,000	2인 6,000	
예고 이상 경과는 1시간 요금 청구 합니다			
할인 혜택은 1시간 요금 청구 합니다			
체험예약 : 017-508-9543			
카터단체문의 : 054-745-1303			

看板 その1♪

애교 이상 경과는 1시간 요금 청구합니다. <愛嬌としてゆるされる時間が過ぎれば追加料金をいただきます。>

レンタルバイク屋さんの看板。うーん、愛嬌分はおまけだなんて、気持ちにゆとりがありますねえ。

でも、愛嬌ってどれくらい？

한국체험여행 韓国体験旅行



第1回韓国体験旅行 旅行記 【2日目】

2日目 世界遺産を満喫！

この日は、世界遺産の石窟庵と仏国寺をめぐります。慶州には、慶州遺跡地区をあわせて3つの世界遺産があるんですって。



石窟庵には美しさとせつなさが

ここが石窟庵入り口。

みなさん、空をご覧ください。雲ひとつない青い空が広がっています。

정말로 아름다워요... 〈本当にきれい...〉

感じた気持ちを伝える人が隣にいる。とても幸せな旅が今日も始まります。



石窟庵の正式名称は、「吐含山石窟庵」。後ほど行く、仏国寺と共に「吐含山」に位置します。

石窟庵は、8世紀新羅時代に作られた寺院です。入口から仏様がいらっしゃる庵までおよそ1km。

のんびりといろいろなことを話しながら歩きました。

石窟庵は、残念ながら建立当時の姿ではありません。庵のそばには、修復工事のときにあまってしまった石が積んでありました。ガイドさんから破壊と修復に日本が関わったことを伺うと、日本人としてせつなくなります。

先生が「新羅人の心を感じましょう」とおっしゃり、もとの場所に戻ることが出来なかった石たちの思いを分かち合えるよう、みんなで冷たい石の上にそっと手をおきました。

ここは、山の上にあるため見下ろす風景も美しいところです。

いかがですか、遠くに日本海、東海（韓国名：東海）が見えますか。



威厳に満ちた仏国寺

山を少し降りて、仏国寺に来ました。仏国寺は、6世紀新羅時代に創建された寺院で、6個の国宝を有しています。仏国寺全体が、史跡・名勝第1号で、小学生の遠足や団体旅行の方も多いですね。建物は優美で貴重があり、韓国の方にとっても特別の場所な気がします。



国宝に指定されている多宝塔です。韓国の教科書や10ウォン硬貨のデザインに使われています。子ど

もの頃、教科書に出てきたものを目の前にすると感動しましたよね。まずは、10ウォン硬貨を見つめて、子どもの頃の気持ちを少し思い出しました。黄金の豚さんは、学院で育てることに。



ちょっと休憩♪

これは、有名なポンテギです。おいしそうでしょ。

そうでもない？ 見た目が少し？ 見た目で判断してはいけませんよね、食べ物も人も。

一つひとつをじっくり観察すると、見つめ返してきますから、たくさんの量を思いっきりお口にどうぞ！ ただし、カップ一杯をお友達と分けてお召し上がりいただくのがおススメです。



本当に暑く、お昼は全員冷麺に決定！

さっぱりしておいしい！ 生きかえった～



街全体から歴史を感じます

慶州は、車を走らすと多くの古墳が見られます。平らな大地にほっくり盛り上がった古墳はとてもやさしい風景。ここ大稲園は、古墳公園で12万坪以上の広さに23基の古墳が並んでいます。その中で天馬塚は内部を見ることができ、ドーム型内面には出土した金冠などのレプリカが飾ってありました。

その後、国立慶州博物館にきました。韓国語で、「国立博物館」の発音は難しいんです。文字通り読むのでは通じません。私たちが使っている教科書にも、この発音変化が載っています。授業で習った言葉が目の前にあるのは、とてもうれしい！

入り口を抜けて右に見えるのが聖徳大王神鐘。通称、エミレの鐘です。エミレというのはお母さんという意味。鐘を鋳造するときに女の子を人柱としたといわれていて、鐘を突くと「お母さん」と響く伝説が残っています。

建物内は自由見学。さきほど天馬塚でみた金冠の本物の輝きを見て、新羅人の技術の高さと流れる歴史を感じました。



看板 その2♪

대학입시 100일 기도접수〈大学入試100日 祈祷受付〉

熱心に祈りを捧げる親御様の姿に胸がいっぱいになります。人は祈りで生かされているのかなあ。

みんなで応援していますよ。受験生頑張れ！

한국체험여행 韓国体験旅行



第1回韓国体験旅行 旅行記 【3日目】

3日目 そして釜山へ

朝は、万博公園の散策。

慶州の古い町並みが再現されたジオラマや石窟庵内部のレプリカも見ました。新羅の古き都に思いをはせ、仏様の後ろものぞいて少しお勉強。



看板 その3♪

오늘은 짹수번 차량, 내일은 홀수번 차량 운행하는 날

〈今日は偶数ナンバー車両、明日は奇数ナンバー車両が運行する日〉

環境を守るために、走行する車の数を調整。地球温暖化を防ぐための努力は怠らない・・・すばらしい。

看板 その4♪

車で釜山へ移動中に見つけた慶州市の看板。そのため写真がありません！ しかももうろ覚え・・・心に映像としては残っていたのですが。

先生が覚えていてくださったので書きました。



생각이 바뀌면 미래가 바뀐다。〈考えが変わると、未来が変わる〉

韓國の方って、詩人ですよね。心が深い。

この3日間、街にあふれる看板から何度も感動をいたしましたことでしょう。気が抜けません。

よーし、明るい未来を迎えるために、考え方を変えよう♪

韓国語を学ぶと、未来が変わる

入れ替えてみたりして。

釜山へやってきました

お昼は、チャジャン麺。日本のジャージャー麺と違って、甘くてまろやか。玉ねぎ、豚肉、えびなどが入っている赤味噌ソースを太目の麺とおもいっきり！ からめてたべます。おいしい！

もう一つは、酢豚。甘酸っぱくありません。一番の違いは見た目かな、これもおいしい！！

後ろにあるのは麻婆豆腐。辛味を花山椒ではなく、唐辛子でつけていて良いお味。今まで食べた麻婆豆腐の中で一番好きかも。

そういうわけで、韓国にはバレンタインデー、ホワイトデーのほかに、ブラックデーがあるんですって！ なんと恋人のいない人が集まって5月14日にチャジャン麺を食べるとか。もちろん、私たちは韓国に愛されているから大丈夫、今日でいいんです。

やはり海が見たい！

お約束の免税店とロッテ百貨店に寄ったあと太宗台へ海を見に。

途中、車窓から釜山港を眺めながら行きました。

한국체험여행 韓国体験旅行



第1回韓国体験旅行 旅行記 【3日目】

3日目 そして釜山へ

朝は、万博公園の散策。

慶州の古い町並みが再現されたジオラマや石窟庵内部のレプリカも見ました。新羅の古き都に思いをはせ、仏様の後ろものぞいて少しお勉強。



看板 その3♪

오늘은 짹수번 차량, 내일은 홀수번 차량 운행하는 날

〈今日は偶数ナンバー車両、明日は奇数ナンバー車両が運行する日〉

環境を守るために、走行する車の数を調整。地球温暖化を防ぐための努力は怠らない・・・すばらしい。

看板 その4♪

車で釜山へ移動中に見つけた慶州市の看板。そのため写真がありません！ しかももうろ覚え・・・心に映像としては残っていたのですが。

先生が覚えていてくださったので書きました。



생각이 바뀌면 미래가 바뀐다。〈考えが変わると、未来が変わる〉

韓國の方って、詩人ですよね。心が深い。

この3日間、街にあふれる看板から何度も感動をいたしましたことでしょう。気が抜けません。

よーし、明るい未来を迎えるために、考え方を変えよう♪

韓国語を学ぶと、未来が変わる

入れ替えてみたりして。

釜山へやってきました

お昼は、チャジャン麺。日本のジャージャー麺と違って、甘くてまろやか。玉ねぎ、豚肉、えびなどが入っている赤味噌ソースを太目の麺とおもいっきり！ からめてたべます。おいしい！

もう一つは、酢豚。甘酸っぱくありません。一番の違いは見た目かな、これもおいしい！！

後ろにあるのは麻婆豆腐。辛味を花山椒ではなく、唐辛子でつけていて良いお味。今まで食べた麻婆豆腐の中で一番好きかも。

そういうわけで、韓国にはバレンタインデー、ホワイトデーのほかに、ブラックデーがあるんですって！ なんと恋人のいない人が集まって5月14日にチャジャン麺を食べるとか。もちろん、私たちは韓国に愛されているから大丈夫、今日でいいんです。

やはり海が見たい！

お約束の免税店とロッテ百貨店に寄ったあと太宗台へ海を見に。

途中、車窓から釜山港を眺めながら行きました。



太宗台は、藤本敏和先生のおススメスポットです。釜山大橋で結ばれた影島の突端にあり、目の前は玄界灘。遊園地や展望台も整備されています。



断崖絶壁にどこまでもつづく青い海、浮かぶ島々、その向こうに日本。不思議ですね、海を見つめるとなぜか郷愁にかられます。2つの国を分けている海、つながっているのもこの海なんですね。
私たちが指しているところはどこかって？
もちろん「明るい未来」です。

考えを変えたら、未来がちょっと見えてきちゃった！



看板 その5♪

즐거운 추석 명절 되십시오.〈楽しい 秋夕名節 お過ごしください〉
これは、추석（秋夕・チュソク）をお知らせする垂れ幕。秋夕は、日本で言うとお彼岸。多くの方が故郷に帰ってご先祖様にご挨拶します。
この時は、ちょうど秋夕の一週間前。先ほど行ったロッテ百貨店でも、故郷へのお土産が棚に並びにぎやかでした。
先祖を大切にし、行事もきちんと行う韓国はとても素敵。



夕食はもちろんお刺身

お待ちかねの夜。釜山といえば、자갈치 시장（チャガルチ市場）。新鮮なお刺身や魚介類を扱うお店がたくさん集まっています。とてもパワフルな雰囲気で、気合をいれて回らないと威勢のいいおばちゃんたちに圧倒されます。眉毛も怖い・・・



市場は、あわびやウニ、カニのほか、白身魚のお魚や貝類が豊富です。見ているだけでわくわくします。日本と違い、マグロなどの赤身魚が少ないような。韓国の方は、赤身をお好きでないのかな？

市場の見学をした後、「新東亜水産物総合市場」でお食事です。ここは、1987年に完成したビル。1階が魚市場、2階は乾物市場、3階に私たちが食事をした広間がありました。港を望む席でおいしくいただきます。

向かい側には、2006年に完成した新しいビルが。

街は、どんどん生まれ変わっているんですね。変化というものは寂しくもありますが、仕方がないかな。この街のこの風景は、今しか出見えない。一期一会の面白さを楽しみましょうか。

お刺身盛り合わせ。生蛸とケブル（ユムシ）もあります。ケブルは、ナマコを裸にしたみたいなもの。ちょっと恥ずかしい。だけど、そっと噛んでみると、こりこりしておいしい！

蛸も新鮮。ぐによぐによ動いて、吸盤が口にくっつく～ ふふふ。

お刺身は、白身魚2点盛りです。コチュジャンソースでいただきます。先生は、少し前まではお刺身をツマも使ってきれいに盛り付けていたとおっしゃっていました。ここにも変化がありましたね。

魚のあらは、鍋にしていただきました。よいダシが出ていてとても豊かな味。お酒も飲んで、ご飯も進みます。



最後の夜
はお散歩
しながら
お食事の
後は、迷
路のよう

な国際市場を通ってホテルへ。



ホテルまでは歩いて30分くらいとのことで、散歩をしながら帰りました。酔いを醒ますのにもちょうどいいかも。

途中で夏にははずせない팥빙수（パッピングス）を食べて。

国際市場も釜山を代表する市場の一つです。ここはカバン屋さんをはじめ、寝具や洋服、厨房用品、文具店があり生活用品が安く買えるそう。ガイドのキムさんのメガネもここでそろえたとか。

帰り道、市場のお店はすでに閉まっていましたが、今日も韓国語レッスンは行われました。

先生が看板を指しながら「はい、この文字を読んでみましょう。」

「・・・・・♪」

「みなさん、発音が良くなりましたね。」

わ～うれしい！この旅で「この文字を読んでみましょう。」と幾度問い合わせていただいたでしょうか。始めはたどたどしかった発音も、少しづめらかになってきました。

日ごろから「韓国語は声に出さなければ、美しい発音が出来るようになります。声を出して読みましょう。」とお教えいただきましたが、この3日間で上手になる手ごたえを得ました。

何よりも文字を読みながら、そこに込められている韓国の方の心も感じられたことが喜びです。先生、本当にありがとうございます。

あ～明日には日本へ帰らなければいけないのですね。

ぐっと近づいてきた韓国、笑いっぱなしの毎日。

이 즐거움이 계속 되었으면 좋겠다。〈この楽しさがずっと続けばいいのに。〉



한국체험여행 韓國體驗旅行



第1回韓国体験旅行 旅行記 【4日目・最終日】

4日目 感謝の4日間

最後の朝、私たちが泊まったコモドホテル釜山を撮影しました。韓国の建築文化を取り入れた建物で美しいですよね。



それでも本当に美しい天気♪なのに寂しい。ホテルには日本と韓国の旗が並んでいためいて、その美しさを見るだけで涙がでてきます。
あ～こんなに涙もろくなるなんて、旅があまりにも充実していて、ついでに歳も取ってしまったかしら。

その後、お決まりの韓国物産店に寄り最後のお買い物、そして空港へ。

旅の終わりに

今回の「韓国体験旅行」は、尊敬する先生方と親愛なる仲間に恵まれ、とても実り豊かな旅となりました。

ずっと一緒にいたイ・ホンボク先生、お忙しい中、私たちに会いに来てくださった藤本敏和先生、感謝いたします。〈ありがとうございました。〉

그리고 여행에 비록 참가 못 했어도 마음으로 함께 해 주신 분들께도 감사드립니다. 〈そして、旅行に参加されなくとも心をご一緒にしてくださった方々に、あわせて感謝いたします。〉

旅を終え、私はこの気持ちを、一生懸命韓国語を学ぶことでお返ししたいと思っております。これからも、あふれる愛情でご指導いただけますと幸いです。

学びの場に感謝して

みなさんは、勉強することは好きですか。では、学ぶことは？

画叢を分けてお伺いしたのは、私はこの旅で、勉強することと鑑賞ことは違うと感じたからです。

勉強は、一人でも出来ること。単語や構文を覚えなければならなくて苦しい時もありますよね。それを乗り越えるのが勉強

しかし、学ぶことは、一人では出来ないと気づきました。学びには、よき仲間とその仲間が集う「場」が必要なのではないでしょうか。仲間たちが互いに磨きあう「学びの場」。その場に、私たちをあたたかく見守ってくださる先生がいらしたら、こんな幸せなことはありません。

この「韓国体験旅行」は、学院の授業と同じように、常に良き「学びの場」でありました。韓国の言葉や文化だけでなく、韓國の方の思いや人の優しさも知ることが出来たと思っております。
そして、それらの気づきを得られようう配慮くださった先生方に、あらためて感謝いたします。

本当にこの旅は、嗚咽嗚咽嗚咽 감동해요…（笑って泣いて、感動して……）